

Aptar

digital health

日本市場における
デジタルヘル
スの可能性



デジタルヘルスにおける日本市場の可能性

最先端のデジタル・ヘルス・ソリューションを必要とする市場

日本の高齢者人口の割合は世界最高水準です。2021年における65歳以上の人口の割合は28%で、2060年までに40%近くに増加すると予想されています。日本の平均寿命は、女性が87.7歳、男性が81.6歳に達し、世界最長寿命国となっています。高齢者は通常、より多くの治療や医療ケアが必要なため、高齢者人口の増加が進む中、ヘルスケアに関する複雑な課題が生じています。

ヘルスケアサービスに対する需要の増加は、高齢化人口を支える労働人口の減少と相まって、日本の医療制度を圧迫しています。国民皆保険制度は、包括的ですが、このように人口構成が変化中、大きな難題に直面しています。

これこそ、デジタル治療や高度なSaMD（医療機器としてのソフトウェア）などのデジタル・ヘルス・ソリューションが、役立つ領域です。

デジタルヘルスは、日本のヘルスケアニーズに対し、スケーラブルで効率的なソリューションを提供します。遠隔モニタリング、遠隔医療、パーソナライズされたデジタル治療により、高齢者に継続的なケアと支援を提供し、従来のヘルスケアリソースに対する負担を減らすことができます。弊社は技術を駆使して、ケアへのアクセスを向上し、ヘルスケアの提供を効率化し、ひいては日本における高齢化人口の健康アウトカムの向上に貢献することができます。

Aptar Digital Healthによる日本市場のための体験とソリューション

2023年、Aptar Digital Healthはライフサイエンス業界のパートナーと共に、日本市場向けに2つのデジタル・ヘルス・ソリューションを開発しました。このソリューションは、14名の患者と医療従事者から成る日本人のユーザーパネルによって、検証され、評価されました。その結果を基に、日本人のニーズを満たすための以下のような要件をリスト化しました。



デジタルヘルスにおける日本市場の可能性

- 製品の内容が、日本語を母語とするプロの翻訳者により、確認されていること。
- 利用者がより気持ちよく使えるように、欧州諸国とは異なる、命令口調を控えた語調を使用すること。
- 追加の使用説明文を作成し、より分かりやすく順を追って説明すること。
- 日本の生活様式に合うように内容を改訂すること。例えば、日本では通常、体温を脇の下で測るので、医用体温測定アルゴリズムを変更しました。

Aptar Digital Healthは、日本でデジタル・ヘルス・ソリューションの提供を開始する準備が整っています。

- 弊社がデジタル・ヘルス・ソリューションを開発しているソフトウェアプラットフォームは、すべて日本語に翻訳されています。

- 形式的調査と総括的調査を実施するため、日本に拠点を置くヒューマン・ファクター・エージェンシーと提携し、2023年に形式的調査を実施しました。
- 弊社は日本の薬事・市場参入の分野を熟知しており、パートナーが医薬品医療機器総合機構（PMDA）に薬事承認申請する際にサポートすることができます。
- ホスティング環境とデータストレージのサプライヤーであるAzure社との契約対象範囲を、日本に拡大しました。
- さらに最近、東京に新しいオフィスを開きました。
- 市場参入コンサルティングサービスを提供し、パートナーがソリューションを日本で商品化するための最適な戦略を特定できるよう、パートナーを支援し、助言しています。
- 日本の医療制度を深く理解しており、日本のデジタルヘルス事情を注視しています。



デジタルヘルスにおける日本市場の可能性

関心領域における4つの医療ユースケース

Aptar Digital Healthは、ライフサイエンス、バイオテクノロジー、メドテック企業と提携し、世界中の患者の具体的な課題やニーズに対応するようカスタマイズした、有意義なデジタル・ヘルス・ソリューションを開発・導入しています。弊社は、以下のような複数の要素に従ってソリューションを設計しています。

- 治療領域とそれに関連する医学的課題
- 患者ジャーニーと患者のニーズ
- 医療提供者の課題とニーズ
- 利用者の社会的・文化的背景
- 関連する治療の処方

上記の要素を念頭に置きながら、特に、異なる治療関心領域における4つの医療ユースケースに積極的に取り組んでいます。

- 腫瘍学領域では、患者のウェルビーイングに重点を置き、医療提供者とリアルタイムで情報を共有し、患者の症状管理をサポートしています。

- 呼吸器領域では、1つのツールで疾患の測定、追跡、モニタリングを行い、患者が喘息やCOPDを管理できる包括的な単一プラットフォームを構築することを目指しています。
- 神経内科領域では、医療提供者が患者の医療プロフィールに従って適切な投薬量を計算できるようにサポートしています。
- 皮下注射薬については、注射イベントを正確に検出し、注射が正しく行われたかどうかをリアルタイムで視覚的・音声的にフィードバックする自己注射器向けアドオンを開発しました。

また最近では、日本の医療従事者向けに、慢性疾患で使用される特定の薬剤の投与量の計算に役立つデジタルヘルスソリューションを開発しました。このソリューションは大手ライフサイエンス企業と共同開発されたもので、現在日本でご利用いただけます。

Aptar
digital health



Aptar Digital Healthについて

[Aptar Digital Health](#)は、デジタル介入策の総合エコシステムを活用して、日々の患者体験を向上させるエンド・ツー・エンド・ソリューションを作り出します。弊社は業界をリードする製品とソリューションのポートフォリオを活かし、モバイルアプリとウェブアプリ、一体化された薬剤提供体制、オンボーディング、研修および高度なデータアナリティクスサービス等のトータルサービスにより、患者を積極的にサポートし、前向きな治療体験を作り出します。

[Aptar Pharma](#)のデジタルヘルス部門は、薬剤、消費者製品の投与、調剤および保護技術において世界をリードするAptarグループの一部です。

日本での患者体験の向上に向けたサービスのご相談は、ぜひ面談をご予約ください。

お問い合わせ

Romain Marmot
Chief Business Officer
romain.marmot@aptar.com

Aptar
digital health